



## 2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社サイバー・バズ 上場取引所 東  
 コード番号 7069 URL <https://www.cyberbuzz.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 彰典  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岩田 真一 TEL 03-6758-4738  
 半期報告書提出予定日 2026年5月15日 配当支払開始予定日 ー  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	4,151	18.9	394	256.2	381	222.0	263	302.4
2025年9月期中間期	3,492	△9.3	110	—	118	—	65	—

(注) 包括利益 2026年9月期中間期 264百万円 (312.6%) 2025年9月期中間期 64百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	65.24	65.20
2025年9月期中間期	16.28	16.27

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	3,543	1,067	25.1
2025年9月期	3,108	752	18.8

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 889百万円 2025年9月期 585百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	15.0	520	48.8	487	41.2	368	△4.7	91.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有  
新規 2社 (社名) 株式会社Men' s B. P. 株式会社BuzzInnovation
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期中間期	4,086,420株	2025年9月期	4,037,100株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	13,518株	2025年9月期	13,506株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年9月期中間期	4,040,029株	2025年9月期中間期	4,023,595株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善などにより、景気は緩やかな回復基調で推移していましたが、中東情勢の緊迫化を受けた原油高と供給不安から燃料費や物流費、原材料コストの高騰などの影響により、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループが事業展開を行う2025年の国内広告市場は、インターネット広告を中心に拡大しており、同広告市場においては動画広告を中心に成長し、前年比10.8%増の4兆459億円となり、総広告費に占める構成比は50.2%と初めて過半数に達しました。(注)

このような環境の中、当社グループでは「コミュニケーションを価値に変え、世の中を変える。」をミッションとし、「SMM(ソーシャルメディアマーケティング)事業」、「ライブ配信プラットフォーム事業」、「HR(ヒューマンリソース)事業」、「アフィリエイト事業」、「CVC事業」を展開してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高4,151百万円(前年同期比18.9%増)、営業利益394百万円(前年同期比256.2%増)、経常利益381百万円(前年同期比222.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益263百万円(前年同期比302.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①SMM事業

SMM事業では企業がSNSプラットフォームを通して消費者へ行うマーケティング活動を総合的に支援しており、主に「インフルエンサーサービス」、「SNSアカウント運用」、「SNS広告」、「インターネット広告販売」を行っております。

「インフルエンサーサービス」では、「NINARY」及び「Ripre」を中心に、当社グループ独自のインフルエンサーネットワークを活用したプロモーション施策の企画提案を行っております。

「SNSアカウント運用」では、企業・ブランドのSNS公式アカウントの企画・コンサルティングを含めた運用代行を行っております。

「SNS広告」では、ソーシャルメディアプラットフォームの運用広告、ソーシャルメディアのプラットフォーム連動の独自メディアを活用した「tobuy」などのプロモーション施策の企画提案を行っています。

「インターネット広告販売」では、ソーシャルメディア関連広告を中心とした、他社の広告商品の販売を行っております。

当中間連結会計期間においては、セールスマックスによる自社プロダクトの好調が牽引し、SMM事業の売上高は3,862百万円(前年同期比19.8%増)、営業利益は804百万円(前年同期比44.1%増)となりました。

#### ②ライブ配信プラットフォーム事業

ライブ配信プラットフォーム事業では連結子会社である株式会社WithLIVEにおいて、有名アーティスト・タレント等とオンラインで1対1の対話ができるサービス等を行っております。

当中間連結会計期間においては、BtoB向けイベントの伸長およびBtoC向け施策の効果により、両事業における売上が拡大し、売上高は249百万円(前年同期比16.6%増)、営業利益は41百万円(前年同期比161.3%増)となりました。

#### ③その他

その他では「HR事業」「アフィリエイト事業」「CVC事業」を行っております。

当中間連結会計期間においては、HR事業において前年のパフォーマンスを下回ったことが主因で、売上高は38百万円(前年同期比29.7%減)、営業損失は15百万円(前年同期は16百万円の営業利益)となりました。

(注) 出典：株式会社電通「2025年 日本の広告費」

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、2,929百万円となり、前連結会計年度末に比べ446百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が363百万円、現金及び預金が182百万円増加したことによるものであります。固定資産は613百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が11百万円増加したものの、のれんが30百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,543百万円となり、前連結会計年度末に比べ434百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、2,053百万円となり、前連結会計年度末に比べ324百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が133百万円減少したものの、買掛金が220百万円、未払法人税等が86百万円、1年内返済予定の長期借入金が54百万円、未払金が54百万円、未払消費税等が38百万円増加したことによるものであります。固定負債は422百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が増加したものの、社債が300百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,475百万円となり、前連結会計年度末に比べ119百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,067百万円となり、前連結会計年度末に比べ314百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は25.1%（前連結会計年度末は18.8%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ152百万円増加し、1,429百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は514百万円（前年同中間期は73百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益342百万円、仕入債務の増加220百万円、未払又は未収消費税等の増加74百万円、法人税等の還付及び還付加算金の受取額67百万円、未払金の増加45百万円、社債繰上償還精算金38百万円による増加要因、売上債権の増加363百万円による減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は45百万円（前年同中間期は274百万円の獲得）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出20百万円、定期積金の預入による支出10百万円、有形固定資産の取得による支出8百万円、投資有価証券の取得による支出5百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は316百万円（前年同中間期は96百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入203百万円による増加要因、社債の償還による支出338百万円、長期借入金の返済による支出103百万円による減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年11月12日の「2025年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2026年5月14日公表の「連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,276,957	1,459,630
受取手形及び売掛金	1,029,557	1,392,656
仕掛品	1,162	2,413
貯蔵品	665	1,165
その他	174,961	73,867
流動資産合計	2,483,304	2,929,733
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	54,845	54,845
減価償却累計額	△7,844	△9,682
建物附属設備(純額)	47,000	45,162
工具、器具及び備品	149,831	166,386
減価償却累計額	△51,111	△65,491
工具、器具及び備品(純額)	98,719	100,895
有形固定資産合計	145,719	146,058
無形固定資産		
のれん	123,015	92,261
ソフトウェア	5,155	2,589
顧客関連資産	36,447	27,335
その他	31,458	23,593
無形固定資産合計	196,076	145,780
投資その他の資産		
投資有価証券	23,496	25,806
繰延税金資産	62,843	74,157
敷金及び保証金	175,411	175,235
その他	21,364	46,363
投資その他の資産合計	283,116	321,561
固定資産合計	624,912	613,400
資産合計	3,108,217	3,543,133

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	840,793	1,061,063
短期借入金	500,000	366,600
1年内返済予定の長期借入金	108,000	162,996
契約負債	59,368	68,401
未払金	60,652	114,944
未払法人税等	23,695	109,929
未払消費税等	13,183	51,874
ポイント引当金	6,160	6,700
その他	116,257	110,577
流動負債合計	1,728,110	2,053,086
固定負債		
社債	300,000	—
長期借入金	308,000	408,273
繰延税金負債	19,626	14,298
固定負債合計	627,626	422,571
負債合計	2,355,736	2,475,658
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	484,621	504,620
資本剰余金	484,621	504,620
利益剰余金	△353,122	△89,551
自己株式	△32,740	△32,750
株主資本合計	583,378	886,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,801	2,601
その他の包括利益累計額合計	1,801	2,601
新株予約権	167,300	177,935
純資産合計	752,480	1,067,475
負債純資産合計	3,108,217	3,543,133

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	3,492,765	4,151,615
売上原価	2,170,826	2,543,541
売上総利益	1,321,939	1,608,073
販売費及び一般管理費	1,211,304	1,214,018
営業利益	110,634	394,055
営業外収益		
ポイント収入額	1,727	409
助成金収入	1,410	360
役員報酬返納額	5,239	—
法人税等還付加算金	—	598
受取保険金	10,000	—
雑収入	146	1,359
営業外収益合計	18,522	2,727
営業外費用		
投資事業組合運用損	450	3,557
支払利息	6,954	10,344
社債利息	789	1,504
雑損失	2,577	197
営業外費用合計	10,771	15,603
経常利益	118,385	381,179
特別利益		
新株予約権戻入益	5,237	—
特別利益合計	5,237	—
特別損失		
固定資産除却損	111	—
社債繰上償還精算金	—	38,194
特別損失合計	111	38,194
税金等調整前中間純利益	123,511	342,984
法人税、住民税及び事業税	46,217	96,054
法人税等調整額	11,797	△16,640
法人税等合計	58,015	79,413
中間純利益	65,496	263,570
親会社株主に帰属する中間純利益	65,496	263,570

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	65,496	263,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,424	800
その他の包括利益合計	△1,424	800
中間包括利益	64,071	264,370
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	64,071	264,370

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	123,511	342,984
減価償却費	43,024	35,759
のれん償却額	30,753	30,753
株式報酬費用	11,318	12,302
助成金収入	△1,410	△360
受取保険金	△10,000	—
投資事業組合運用損益(△は益)	450	3,557
支払利息及び社債利息	7,743	11,848
新株予約権戻入益	△5,237	—
社債繰上償還精算金	—	38,194
固定資産除却損	111	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,318,859	△363,098
棚卸資産の増減額(△は増加)	400	△1,750
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,202,612	—
仕入債務の増減額(△は減少)	△44,792	220,270
契約負債の増減額(△は減少)	25,639	9,033
未払金の増減額(△は減少)	△48,303	45,864
未払又は未収消費税等の増減額	△79,301	74,039
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,850	540
その他	1,018	22,876
小計	169,324	482,816
利息の支払額	△7,743	△11,848
助成金の受取額	330	360
保険金の受取額	10,000	—
法人税等の支払額	△98,838	△24,268
法人税等の還付及び還付加算金の受取額	—	67,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,073	514,409
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	—	△5,112
有形固定資産の取得による支出	—	△8,895
敷金及び保証金の差入による支出	△6,093	△1,403
敷金及び保証金の回収による収入	280,500	—
定期預金の預入による支出	—	△20,000
定期積金の預入による支出	—	△10,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	274,406	△45,511
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△350,000	△78,404
長期借入れによる収入	200,000	203,404
長期借入金の返済による支出	△54,000	△103,131
社債の発行による収入	300,000	—
社債の償還による支出	—	△338,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	96,000	△316,325
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	443,479	152,572
現金及び現金同等物の期首残高	528,651	1,276,957
現金及び現金同等物の中間期末残高	972,130	1,429,530

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SMM事業	ライブ配信 プラット フォーム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,224,932	212,458	3,437,391	55,374	3,492,765	—	3,492,765
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1,900	1,900	—	1,900	△1,900	—
計	3,224,932	214,358	3,439,291	55,374	3,494,665	△1,900	3,492,765
セグメント利益	558,525	16,045	574,570	16,205	590,776	△480,141	110,634

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、HR事業を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△480,141千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SMM事業	ライブ配信 プラット フォーム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,862,777	249,926	4,112,704	38,911	4,151,615	—	4,151,615
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,862,777	249,926	4,112,704	38,911	4,151,615	—	4,151,615
セグメント利益又は 損失(△)	804,913	41,931	846,844	△15,689	831,155	△437,100	394,055

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、HR事業、アフィリエイト事業、CVC事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△437,100千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2026年5月14日開催の当社取締役会において、以下のとおり、2026年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

1. 株式分割の目的

株式分割を行い投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2026年6月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	: 4,086,420株
今回の分割により増加する株式数	: 4,086,420株
株式分割後の発行済株式総数	: 8,172,840株
株式分割前の発行可能株式総数	: 12,000,000株
今回の株式分割に伴う定款の一部変更により増加する発行可能株式総数	: 12,000,000株
株式分割後の発行可能株式総数	: 24,000,000株

3. 株式分割の日程

基準日公告日	: 2026年6月12日(予定)
基準日	: 2026年6月30日(予定)
効力発生日	: 2026年7月1日(予定)

4. 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たりの権利行使価額を2026年7月1日以後、以下のとおり調整いたします。

新株予約権	行使価額(円)		新株予約権1個当たりの株式数(株)	
	調整前	調整後	調整前	調整後
第2回新株予約権	300	150	50	100
第3回新株予約権	820	410	50	100
第4回新株予約権	3,650	1,825	100	200
第5回新株予約権	2,275	1,138	100	200
第6回新株予約権	1,069	535	100	200
第7回新株予約権	1,101	551	100	200
第8回新株予約権	1,375	688	100	200
第9回新株予約権	783	392	100	200

5. 1株当たり情報に及ぼす影響

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における(1株当たり情報)の各数値はそれぞれ次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり中間純利益	8円14銭	32円62銭
潜在株式調整後1株当たり中間純利益	8円13銭	32円60銭

6. その他

- (1) 今回の株式分割に際しまして、資本金の額の変更はありません。
- (2) 詳細につきましては、2026年5月14日公表の「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。